

和泉創発プランの計画期間延長について

1. 計画期間延長の目的

第 6 次総合計画については、大きなまちづくりの方向性などの将来ビジョンを示す「基本構想」部分のみの策定とし、構想の実現に向けた具体的な施策などの「基本計画」部分については、次期和泉創発プランや各種個別計画が担うこととしています。

<計画の構成イメージ>

第5次総合計画	基本構想	1	計画の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・とりまく時代の潮流 ・市民の意識 ・産業構造の現状等 ・人口推計 ・和泉市が持つ優位性 	第6次総合計画
		2	まちづくりの基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方 ・まちづくりの視点 ・土地利用構想 	
		3	将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像 ・まちづくりの目標 	
	基本計画	4	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・定住の促進 ・にぎわいの促進 ・安全・安心の促進 ・支え合い・協働の促進 ・都市経営の促進 	次期和泉創発プラン 各種個別計画

<現在の計画期間>

名称	計画期間	中間見直し
第 5 次和泉市総合計画	平成 28 年度～令和 7 年度	令和 2 年度
和泉創発プラン	令和 2 年～令和 6 年度	令和 4 年度

については、次期和泉創発プランと第 6 次総合計画とを連動させるため、双方の始期を合わせることを目的に、和泉創発プランの計画期間を 1 年延長し、計画の最終年度を令和 7 年度とするものです。

なお、「取組事業」の追加や変更を行うのではなく、これまで進めてきた「まちづくりの取組」及び「公共施設マネジメントの主な取組」に係る事業費やスケジュールの更新、「頑張る職員が報われる制度・働き方改革」の実施予定時期や「財政健全化の取組」の効果額の更新を行うものです。

2. 主な変更項目

＜主な変更項目＞

計画期間	令和 2 年度から令和 6 年度（5 か年）	→	令和 2 年度から令和 7 年度（6 か年）
想定事業費	令和 6 年度まで記載	→	令和 7 年度まで記載 最新情報（令和 5 年度決算見込みベース）に置き換え

（参考）和泉創発プランの構成

第 1 章 プラン策定の趣旨	1. プラン策定の背景 2. これまでの行財政改革の取組 3. 和泉市の現状と課題 4. プラン策定の必要性
第 2 章 プラン策定の基本的な考え方	1. プラン策定の視点 2. プランの基本理念 3. プランの位置付け 4. プランの目標 5. プランの計画期間
第 3 章 プランの取組項目	1. まちづくりの取組 2. 公共施設マネジメントの主な取組 ※ 1 及び 2 の主な取組事業（想定事業費） 3. 頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組 4. 財政健全化の取組
第 4 章 プランの実施と推進体制	1. プランの取組について 2. プランの推進体制について 3. 進行管理の公表について

※ 変更が生じるのは網掛け部分のみ

3. 変更箇所の概要説明

(1) プランの計画期間（本編 19 ページ）

「令和 2 年度から令和 6 年度（5 か年）」となっている計画期間を「令和 2 年度から令和 7 年度（6 か年）」に変更するものです。

和泉創発プラン改訂版

5. プランの計画期間

○ 令和 2 年度から令和 6 年度（5 か年）



和泉創発プラン改訂版（期間延長）

5. プランの計画期間

○ 令和 2 年度から令和 7 年度（6 か年）

(2) 公共施設マネジメントの主な取組（本編 27 ページ～31 ページ）

スケジュールについて、「R7」欄を追加するとともに、「R4」以降のスケジュール及び金額については、最新のものに更新するものです。

(一例)

和泉創発プラン改訂版

<市営住宅（店舗・作業所含む）> 事業内容：和泉第一団地、旭公園等の敷地を活用し、耐震に課題のある住棟を抱える団地をはじめ、他の団地も含めて集約建替えを実施。 （和泉第一団地、王子第一団地、丸笠団地、伯太団地、幸団地、旭第一団地、旭第二団地の一部、幸第二団地の一部、王子第二団地の一部）							
内 容	R2	R3	R4	R5	R6	R7～R13	概算事業費
既存住宅改修設計・工事						R2～R13	事業費計 197
第一期 市営住宅建築設計・ 監理・建築工事・移転 （約170～180戸を旭公園跡地に新築）						R6～R9	事業費計 3,982
第二期 市営住宅建築設計・ 監理・建築工事・移転 （約270～280戸を和泉第一団地跡地に新築）						R10～R12	事業費計 5,367
第三期 市営住宅建築設計・ 監理・建築工事・移転 （約100戸を旭第二団地跡地に新築）						R12～	事業費計 0
市営店舗・作業所建築工事 （59戸（第一期・第二期）を市営住宅跡地に新築）						R9～R10 第一期工事 R13 第二期工事	事業費計 1,159
市営住宅除却工事						R9～	除却工事 2,263
計							12,968



和泉創発プラン改訂版（期間延長）

<市営住宅（店舗・作業所含む）>								
事業内容：和泉第一団地、旭公園等の敷地を活用し、耐震に課題のある住棟を抱える団地をはじめ、他の団地も含めて集約建替えを実施。 （和泉第一団地、王子第一団地、丸笠団地、伯太団地、幸団地、旭第一団地、旭第二団地の一部、幸第二団地の一部、王子第二団地の一部）								
内 容	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8～R15	概算事業費
既存住宅改修設計・工事							R2～R13	事業費計 208
第一期 市営住宅建築設計・ 監理・建築工事・移転 （約230戸を旭公園跡地に新築）							R7～R10	事業費計 6,175
第二期 市営住宅建築設計・ 監理・建築工事・移転 （約320戸を和泉第一団地跡地に新築）							R11～R14	事業費計 7,861
市営店舗・作業所建築工事 （49戸（第一期・第二期・第三期）を市 営住宅跡地に新築）							R10 第一期工事 R11 第二期工事 整備時期は 今後検討 第三期工事	事業費計 1,174
市営住宅除却工事							R8～	除却工事 6,256
計								21,674

最新の見通しを記載

(3)「まちづくりの取組」及び「公共施設マネジメントの主な取組」の主な取組事業
(想定事業費) (本編 32 ページ～38 ページ)

想定事業費について、「R7」欄を追加するとともに、「R4」以降の金額については、最新のものに更新するものです。

(一例)

和泉創発プラン改訂版

①こども医療費助成拡充事業 (P.21)

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R2～6 計	R2～13 計
総事業費		81	82	82	82	327	901
特定財源						0	0
一般財源		81	82	82	82	327	901



和泉創発プラン改訂版 (期間延長)

最新の見通しを記載

①こども医療費助成拡充事業 (P.21)

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～7 計	R2～15 計
総事業費		81	108	132	136	136	593	1,677
特定財源								
一般財源		81	108	132	136	136	593	1,677

決算額

決算見込額

現計予算額

想定事業費

(4) 頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組（本編 39 ページ～40 ページ）

プランで示す「実施予定時期」について、最新のもの（「R5」までは実績、「R6」以降は予定）に更新するものです。

（一例）

和泉創発プラン改訂版

(3) 昇格制度関係			
昇格制度の見直し		人事評価結果の活用による昇格制度の見直し	R6～
(4) 人事評価・人材育成関係			
i	人事評価制度の見直し	新たな評価項目を設定するなど人事評価制度を再構築	R5～
ii	人事評価結果の給与反映への活用	人事評価結果の給与反映に関してよりメリハリをつける手法を導入	R5～
iii	人事評価結果の昇格・降格基準への活用	人事評価結果を昇格・降格に活用する基準を策定	R5～
iv	資格取得報償制度の拡充	対象資格を拡充し、職員が自ら学ぶ環境づくりを推進	随時実施
v	人材育成基本方針の改訂	人材育成基本方針を改訂し、職員としての理念や目標を共有	R5～



和泉創発プラン改訂版（期間延長）

(3) 昇格制度関係			
昇格制度の見直し		人事評価結果の活用による昇格制度の見直し	R5～実施済
(4) 人事評価・人材育成関係			
i	人事評価制度の見直し	新たな評価項目を設定するなど人事評価制度を再構築	R5～実施済
ii	人事評価結果の給与反映への活用	人事評価結果の給与反映に関してよりメリハリをつける手法を導入	R5～実施済
iii	人事評価結果の昇格・降格基準への活用	人事評価結果を昇格・降格に活用する基準を策定	R5～実施済
iv	資格取得報償制度の拡充	対象資格を拡充し、職員が自ら学ぶ環境づくりを推進	随時実施
v	人材育成基本方針の改訂	人材育成基本方針を改訂し、職員としての理念や目標を共有	R6～

最新の見通しを記載

(5) 財政健全化の取組（本編 41 ページ～46 ページ）

効果額について、「R7」欄を追加するとともに、「R4」以降の金額については、最新のものに更新するものです。

（一例）

和泉創発プラン改訂版

取組事業	取組内容	担当 室・課	効果額（単位：百万円）						R2- R6 計	R2- R13 計
			R2	R3	R4	R5	R6			
1.ガバメント・クラウド・ファンディングの導入	ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募り、財源確保を図る。	広報・協働推進室	9	5	1	1	1		17	24



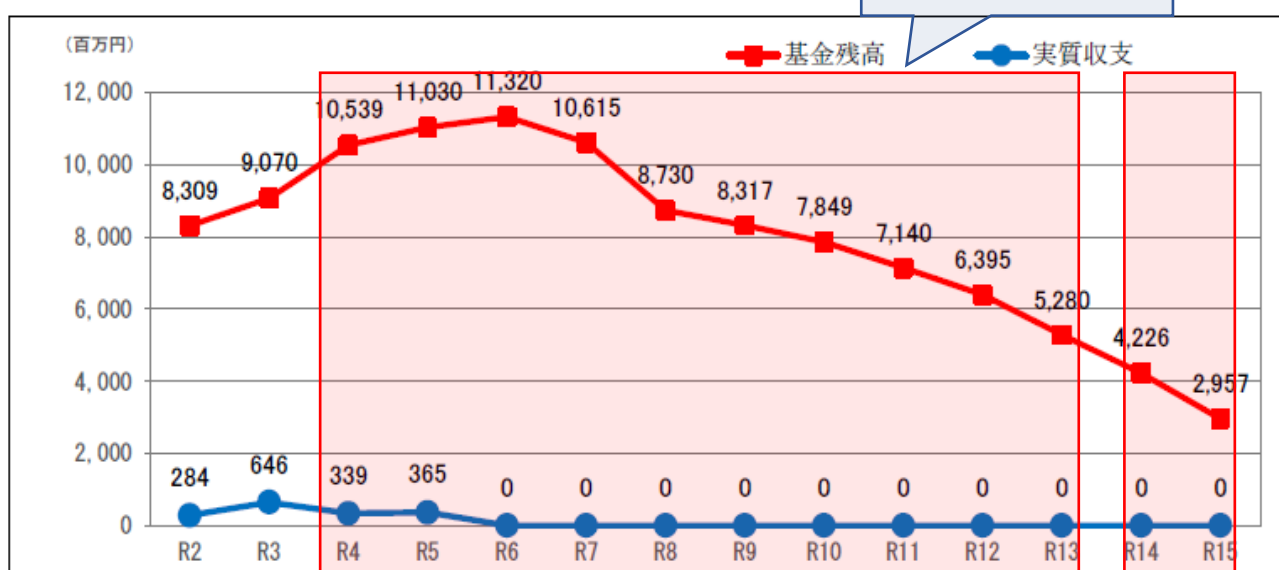
和泉創発プラン改訂版（期間延長）

取組事業	取組内容	担当 室・課	効果額（単位：百万円）							R2- R7 計	R2- R15 計
			R2	R3	R4	R5	R6	R7			
1.ガバメント・クラウド・ファンディングの導入	ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募り、財源確保を図る。	広報・協働推進室	9	5	5	1	1	1		22	30

最新の見通しを記載

<財政収支見通し>

「R13」までの収支見通しを「R15」まで延長するとともに、「R4」以降の金額については、最新のもの（「R5」までは決算、「R6」は当初予算）に更新し、令和 5 年度決算見込みベースと同じ金額となります。



最新の見通しを記載